# 2 長野県農業の特徴

# (1)変化に富んだ自然的立地条件

# ① 南北に長く、広い圏域

縦・横断距離	面積				
南北 212 km、東西 120 km	13,562 km² (全国第 4 位)				

# ② 耕地の標高差が大きく (260m~1,490m)、農地の約8割が標高500m以上に存在

区分	300m以下	300~500	500~700	700~900	900~1,100	1,100m以上
長野県	0%	21%	41%	4	20.70	
全 国	88	7	3	•	.,	·····

資料:「農山漁村地域活性化要因調査」標高別耕地面積割合〔平成3(1991)年〕

## ③ 水田の約3割は1/20以上の傾斜地に存在 (農振農用地の面積割合)

(単位:%)

区分	가	< E	В	畑				
区 分 	1/100 未満	1/100~1/20	1/20 以上	8°未満	8°~15°	15°以上		
長野県	10.8	58.8	30. 4	78. 7	17. 5	3.8		
全 国	43.8	42.0	14. 2	86. 6	9. 9	3. 5		

資料:「第4次土地利用基盤整備基本調査」[平成13(2001)年)]

#### ④ 地域による気象条件の違い

項目	最大	最小	差
年平均気温(平均値)	13.1℃(飯田)	6.6℃ (菅平)	6. 5°C
年間降水量(平均値)	2,644.2 mm (浪合)	906.2 mm (上田)	1,738.0 mm
年間日照時間(平均値)	2,221.9h (上田)	1,556.2h (白馬)	665.7h
月平均気温較差(長野)	25.4℃(8月)	-0.4℃ (1月)	25. 8℃
// (松本)	25.1℃(8月)	-0.3℃ (1月)	25. 4℃
"(飯田)	25.4℃(8月)	1.0℃(1月)	24. 4℃

注: 気象庁平年値、統計期間: 1991~2020年

# (2) 三大都市圏への近距離性

# ① 三大消費地までの距離と時間

(単位:距離:km、時間:時間.分)

+旦 市	場所		京	名。	5 屋	大阪		
が	וע	距離	時間	距離	時間	距離	時間	
佐り		183	2:20	247	3:40	415	5:30	
飯 日	H	265	3:10	118	1:40	287	3:30	
松 4	<b>*</b>	221	2:50	213	2:40	381	4:20	
長 里	予	241	3:10	275	3:30	443	5:20	

注:各市役所(都庁)間で高速道路を利用した場合

「NAVITIME」(http://www.navitime.co.jp/drive/)から作成

# ② 園芸作物の消費地別出荷動向(令和3(2021)年産)

(単位:%)

区	分	京 浜	中京・北陸	京阪神・中四	九州	県 内
				国		
野	菜	33. 1	18. 1	29. 1	9. 1	10.8
果	実	30. 1	19.8	26. 5	3.8	19.9
き	0	37. 1	20.9	33. 7	0.7	7.6
花	き	35. 4	20.5	43.8	0.2	0.1

資料:「園芸畜産課調べ」

## (3) 多様な農業生産と生鮮農産物の供給

## ① 園芸作物の取扱品目とシェア第1位品目 〔令和3(2021)年産〕

区分	果樹	野菜	花き	きのこ	計
品目数	11	41	55	8	115
主な全国 1 位品 目と全国シェア (生産量へ*-ス)	ネクタリン (68%)	レタス (33%) セルリー (42%) 漬け菜 (59%) ② ズッキーニ (30%) ②	アルストロメリア (37%) カーネーション (22%) トルコギキョウ (15%) シクラメン (14%)	えのきたけ (61%) ぶなしめじ (43%) エリンギ (43%)	

出典:特產果樹生產等動態調查、野菜生產出荷統計、地域特產野菜生產状況調查、特用林產物生產統計調查(農林水產省)

注: 元 は令和元 (2019) 年値、②は令和2 (2020) 年値

取扱品目は、全農長野県本部取扱品目数

#### ② 農業産出額(粗生産額)構成比

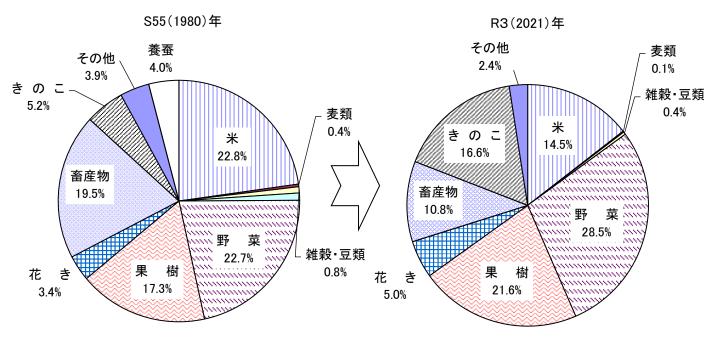
(単位:億円、%)

<b>☆</b> ⊓	門		S55(1	980)年			R3(20	)21)年	
部	L.1	県実額	構成比	全国実額	構成比	県推計値※1	構成比	全国実額	構成比
米		772	22.8	29, 486	28. 3	408	14. 5	13, 699	15. 1
麦	類	12	0.4	1,655	1.6	4	0.1	709	0.9
雑穀	・豆類	28	0.8	1,006	1. 0	10	0.4	775	0.9
果	樹	587	17.3	6, 967	6. 7	609	21.6	9, 159	10.1
野	菜	769	22.7	20, 848	20.0	803	28.5	23, 825	26.3
花	き	117	3.4	1,714	1.6	142	5.0	3, 306	3.7
畜	産	660	19.5	31, 705	30. 5	303	10.7	34, 048	37.6
養	蚕	137	4.0	1, 558	1. 5		_		_
き 0	カこ	178	5. 2	1, 762	1. 7	469	16.6	2,092	2.3
その	の他	133	3. 9	7, 335	7. 1	69	2.4	2, 863	3. 1
合	計※2	3, 393	100.0	104, 036	100.0	2,817	100.0	90, 476	100.0

資料:「生産農業所得統計」、「生産林業所得統計」、「長野農林水産統計年報」、農業政策課調べ

※1 H28年から国の算出方法が変更され、国公表値と県推計値にかい離があるため、R3年は県推計値を記載

※2 合計値はラウンドにより各項目の合計と一致しない場合がある。また、「野菜」にはいも類を含む。



#### (4) 農業**の生産性** [平成 26(2014)年]

項	目	長野県	全 国	全国対比
自営農業労働1時間当たり生産性(対	労働生産性)	518 円	756 円	68.5%
農業固定資産 1,000 円当たり生産性	(資本生産性)	352 円	410 円	85.9%
経営農地面積 10a 当たり生産性(土地	也生産性)	100,000 円	57,000円	175.4%

資料:「長野県農林水産統計年報」 ※平成27年以降、都道府県別数値の公表なし。

#### (3) 農産物販売金額別農家数及び経営体数

販売金額が3,000万円未満の農業経営体数は減少しているものの、3,000万円以上は増加している。 また、販売収入なしと50万円未満の農業経営体数の合計の割合は減少傾向に転じている。

(単位: 戸、経営体数、%)

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	総農家数 農業経営体数	販売 なし	50 万 未満	50~ 300万	300~ 500万	500~ 1,000 万	1,000~ 3,000万	3,000~ 1億	1億以上
\$60(1985)年	175, 637 (100) —	52, 022 (29. 6) —	40, 526 (23. 1) —	62, 869 (35. 8) —	9, 086 ( 5. 2) —	7, 470 ( 4. 3) —	3, 147 ( 1. 8) —	517(	0.3)
H 2(1990)年	162, 298 (100) —	52, 459 (32. 3) —	38, 186 (23. 5) —	51, 332 (31. 6) —	7,658(4.7)	7, 182 ( 4. 4) —	4, 677 ( 2. 9) —	804(	0.5)
H 7(1995)年	149, 078 (100) —	50, 811 (34. 0)	31, 440 (21. 1)	45, 744 (30. 7) —	7, 263 ( 4. 9)	7, 231 ( 4. 9)	5, 330 ( 3. 6) —	1, 259	( 0.8)
H12(2000)年	136, 033 (100) —	51, 865 (38. 1) —	31, 798 (23. 4)	35, 309 (26. 0) —	5, 818 ( 4. 3) —	5, 769 ( 4. 2) —	4, 377 ( 3. 2)	1,027(0.8)	70 ( 0. 1)
H17(2005)年	126, 857 (100) 77, 304 (100)	59, 666 (47. 0) 8, 668 (11. 2)		29, 208 (23. 0) 29, 295 (37. 9)	4, 931 ( 3. 9) 4, 957 ( 6. 4)	4, 718 ( 3. 7) 4, 749 ( 6. 1)	3, 839 ( 3. 0) 3, 927 ( 5. 1)	905 ( 0.7) 1,040 ( 1.3)	62 ( 0. 0) 164 ( 0. 2)
H22(2010)年	117, 316 (100) 64, 289 (100)	60, 580 (51. 6) 5, 879 (9. 1)		23, 758 (20. 3) 23, 858 (37. 1)	3, 756 ( 3. 2) 3, 794 ( 5. 9)	3, 777 ( 3. 2) 3, 829 ( 6. 0)	3, 137 ( 2. 7) 3, 296 ( 5. 1)	707 ( 0. 6) 934 ( 1. 5)	26 ( 0. 0) 161 ( 0. 3)
H27(2015)年	104, 759 (100) 53, 808 (100)	57, 189 (54. 6) 4, 575 ( 8. 5)		18, 682 (17. 8) 18, 813 (35. 0)	3, 272 ( 3. 1) 3, 315 ( 6. 2)	3, 364 ( 3. 2) 3, 440 ( 6. 4)	2,823(2.7) 3,002(5.6)	852 ( 0. 8) 1, 100 ( 2. 0)	39 ( 0. 0) 215 ( 0. 4)
R2(2020)年	89, 786 (100) 42, 777 (100)	- 3, 421 ( 8. 0)	12, 535 (29. 3)	15, 940 (37. 3)	- 3, 306 ( 7. 7)	- 3, 262 ( 7. 6)		- 1, 129( 2.6)	- 230 ( 0. 5)

資料:「農林業センサス」(上段:農家数、下段:農業経営体数) ※( )内は構成比

注:農家数の「販売なし」には自給的農家を含む。

# (4) 基幹的農業従事者数 (ふだん仕事として主に自営農業に従事している者)

基幹的農業従事者は、この 20 年間で 39.7%減少し、55,516 人となり、年齢別では、65 歳以上の占める割合が 5 年間で 1.5 ポイント増加し、73.5%となり高齢化が進行している。

(単位:人、%)

			販売	農家		個人組	<b>E</b> 営体
		H12(2000)年	H17(2005)年	H22(2010)年	H27(2015)年	H27(2015)年	R2(2020)年
	15~29 歳	695 ( 0.8)	733 ( 0.8)	643 ( 0.8)	625 ( 0.9)	617 ( 0.8)	403 ( 0.7)
	30~39 歳	1,481 (1.6)	1,371 (1.5)	71 ( 1.5) 1,316 ( 1.6)		1,350 (1.8)	1,274 (2.3)
	40~49 歳	3,318 (3.6)	2,533 (2.9)	2,028 (2.4)	1,914 (2.6)	1,900 (2.6)	1,841 (3.3)
男	50~59 歳	4,931 (5.4)	4,820 (5.4)	4, 146 ( 5. 0)	3, 144 ( 4. 3)	3,130 (4.2)	2,432 (4.4)
	60 歳以上	35, 982 (39. 1)	36, 813 (41. 5)	36, 662 (44. 0)	33, 108 (45. 1)	33, 423 (45. 1)	26, 122 (47. 1)
	うち 65 歳以上	29, 920 (32. 5)	31, 563 (35. 6)	31, 768 (38. 2)	29, 034 (39. 5)	29, 350 (39. 6)	23, 614 (42. 5)
	小 計	46, 407 (50. 4)	46, 270 (52. 2)	44, 795 (53. 8)	40, 149 (54. 7)	40, 420 (54. 6)	32, 072 (57. 8)
	15~29 歳	269 ( 0.3)	219 ( 0.2)	191 ( 0.2)	203 ( 0.3)	197 ( 0. 3)	123 ( 0.2)
	30~39 歳	1,488 (1.6)	939 ( 1. 1)	669 ( 0.8)	565 ( 0.8)	558 ( 0.8)	467 ( 0.8)
	40~49 歳	4,700 (5.1)	3,035 (3.4)	1,879 (2.3)	1,400 (1.9)	1,390 (1.9)	1,146 (2.1)
女	50~59 歳	8,788 ( 9.5)	6,829 (7.7)	5, 141 ( 6. 2)	3,515 (4.8)	3,526 (4.8)	2, 184 (3.9)
	60 歳以上	30, 451 (33. 1)	, 451 (33. 1) 31, 374 (35. 4) 30, 572 (36. 7) 27, 635 (37. d		27, 635 (37. 6)	27, 994 (37. 8)	19, 524 (35. 2)
	うち 65 歳以上	22, 968 (24. 9)	25, 117 (28.3)	25, 709 (30.9)	23, 659 (32. 2)	23, 999 (32. 4)	17, 181 (30. 9)
	小計	45,696 (49.6)	42, 396 (47. 8)	38, 452 (46. 2)	33, 318 (45. 3)	33, 665 (45. 4)	23, 444 (42. 2)
	15~29 歳	964 ( 1.0)	952 ( 1.1)	834 ( 1. 0)	828 ( 1. 1)	814 ( 1. 1)	526 ( 0.9)
	30~39 歳	2,969 (3.2)	2,310 (2.6)	1,985 (2.4)	1,923 (2.6)	1,908 (2.6)	1,741 (3.1)
合	40~49 歳	8,018 (8.7)	5,568 (6.3)	3,907 (4.7)	3,314 (4.5)	3,290 (4.4)	2,987 (5.4)
	50~59 歳	13,719 (14.9)	11,649 (13.1)	9, 287 (11. 2)	6,659 (9.1)	6,656 ( 9.0)	4,616 (8.3)
計	60 歳以上	66, 433 (72. 1)	68, 187 (76. 9)	67, 234 (80. 8)	60, 743 (82. 7)	61, 417 (82. 9)	45, 646 (82. 2)
	うち 65 歳以上	52,888 (57.4)	56, 680 (63. 9)	57, 477 (69. 0)	52, 693 (71. 7)	53, 349 (72. 0)	40, 795 (73. 5)
½ <del>r≠</del> √r	小計	92, 103 (100. 0)	88,666 (100.0)	83, 247 (100. 0)	73, 467 (100. 0)	74, 085 (100. 0)	55, 516 (100. 0)

資料:「農林業センサス」 ※( ) 内は構成比

注:R2(2020)年調査では個人経営体としての調査となり、販売農家の基幹的農業従事者は集計できない。

## 4 農用地の推移

耕地面積は、令和4 (2022)年において前年から 400ha 減少し、平成 29 (2017)年に比べ 2.3%の減少となった。地目別の減少率では、樹園地が大きい。農振農用地面積も、昭和 60 年 (1985)年以降減少を続けている。

【耕地面積 (ha) 】 【農振農用地面積 (ha) 】

区分	-k ⊞	ılm				스크	農用地区	区域内
年次	水田	畑	普通畑	樹園地	牧草地	合計	農用地	うち耕地
S50(1975)年	80,900	74,600	35, 200	35,000	4, 430	155, 500	116, 521	
S55(1980)年	75, 700	71, 700	37,600	29, 300	4,840	147, 400	119, 088	_
\$60(1985)年	73, 900	70, 700	38, 400	27, 300	4, 980	144,600	120, 636	_
H 2(1990)年	70,800	66, 700	38, 200	23,900	4,650	137, 500	119, 551	_
H 7(1995)年	65, 400	61, 900	36,600	20,800	4,510	127, 300	116, 162	_
H12(2000)年	59,600	58,600	36, 300	18, 400	3, 920	118, 200	112, 415	_
H17(2005)年	57,600	55, 900	35, 200	17, 100	3, 570	113,600	111, 495	_
H22(2010)年	55, 400	55, 800	35, 300	16, 200	3, 350	111, 200	108, 939	94, 400
H27(2015)年	54,000	54, 900	36, 100	15, 500	3, 300	108, 900	102, 208	92, 557
H29(2017)年	53, 100	54, 200	35, 700	15, 200	3, 280	107, 300	100, 032	92, 317
H30(2018)年	52,800	54,000	35, 700	15,000	3, 260	106, 700	99, 868	92, 150
R1(2019)年	52, 400	53, 700	35,600	14,900	3, 250	106, 100	99, 662	91, 803
R2(2020)年	51,900	53, 400	35, 400	14,800	3, 220	105, 300	99, 384	91,649
R3(2021)年	51,700	53, 400	35,600	14, 700	3, 180	105, 200	99, 227	91,611
R4(2022)年	51, 500	53, 300	35, 900	14, 300	3, 130	104, 800		
H27/H22 (%)	97. 5	98.4	102.3	95. 7	98. 5	97.9	93.8	(H27/H22)
R4/H29(%)	97. 0	98. 3	100.7	94. 1	95. 4	97.7	99. 2	(R 3/H29)

資料 (耕地面積):「耕地及び作付面積統計」

資料(農振農用地面積):「農林水産省調べ」※農用地面積には耕作放棄地及び採草放牧地の面積を含む

【荒廃農地の状況】 (単位:ha、%)

	耕地	荒廃農地		荒廃	全国の		
年次	面 積 A	面 積 B	再生利用が可能な 荒廃農地	再生利用が困難と見 込まれる荒廃農地	農地率 B/(A+B)	荒廃率	
H22(2010)年	111, 200	16, 834	9, 801	7, 034	13. 1	5. 5	
H27(2015)年	108, 900	18, 195	7, 545	10, 650	14. 3	5. 9	
H28(2016)年	108, 000	17, 149	4, 981	12, 168	13. 7	5. 9	
H29(2017)年	107, 300	16, 485	3, 881	12,604	13.3	6.0	
H30(2018)年	106, 700	15, 509	3, 877	11,632	12. 7	6.0	
R1(2019)年	106, 100	15, 568	4, 041	11,527	12.8	6. 1	
R2(2020)年	105, 300	15, 289	4, 097	11, 192	12. 7	6. 1	
R3(2021)年	105, 200	10,677	3, 833	6, 844	9. 2	6.0	

資料 (耕地面積):「耕地及び作付面積統計」

資料 (荒廃農地):「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査結果」(農林水産省調べ)

## 5 農業生産の推移

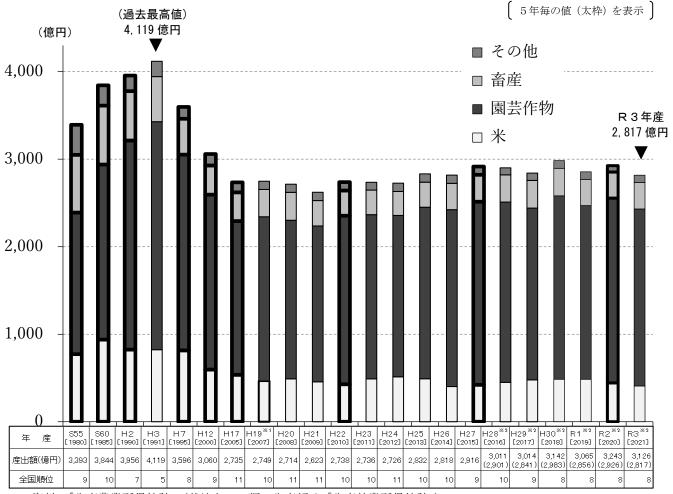
#### (1)農産物産出額の動向

本県の農産物産出額は、立地条件を生かした水稲、園芸作物、畜産等の主産地形成と生産性向上の努力により伸長し、平成3 (1991) 年には、史上最高の4,119 億円となった。

その後、牛肉が輸入自由化になるなど、農産物の輸入量が本県農産物価格の伸び悩みに拍車をかけるとともに、農業従事者の高齢化等による生産量の減少、景気の後退による農産物価格の低迷などにより減少してきたが、近年はほぼ横ばいで推移している。

そのような中で、令和3年産の農産物産出額(県推計値)は、前年に比べ109億円減(対前年比96.3%)の2,817億円となった。これは、豊作により葉物野菜を中心に価格が安価であったこと、凍霜害などにより主にりんごの生産量が大幅に減少したことなどによるもの。作物別の構成比では、園芸作物(野菜、果樹、花き、きのこ)が71.8%、水稲が14.5%、畜産が10.8%となっている。

## 農産物産出額(栽培きのこ含む)の推移



資料:「生産農業所得統計」(栽培きのこ類の生産額は「生産林業所得統計」)

- ※1 平成18年産以前と平成19年産以降は、一部算出方法が異なるため、データ比較の際は注意する。
- ※2 平成 28 年産以降は国の算出方法が変更され、国の公表値と県推計値にかい離があるため、国公表値を上段、県推計値を下段括弧書きで記載。なお、平成 28 年産以降のグラフは県推計値で表示
- ※3 園芸作物は野菜(いも含む)、果実、花き、栽培きのこの合計

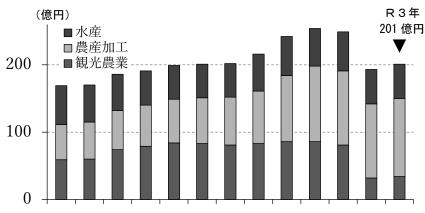
## (2) 農業関連産出額の動向

令和3年の農業関連産出額は、前年に比べ8億円増(対前年比 104.1%)の201億円となった。

これは、ECサイトの活用やWEB商談会への参加等の販売力強化の取組により農産加工の産出額が増加したことなどによるもの。

## 農業関連産出額の推移

資料:「県農政部推計」



21年22年23年24年25年26年27年28年29年30年元年2年3年

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
	(2009)	(2010)	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
農業関連産出額	169	170	186	191	199	201	202	216	242	254	249	193	201
水産	58	55	54	51	50	50	50	55	58	56	58	51	51
農産加工	52	55	58	61	65	68	71	78	98	112	110	110	116
観光農業	59	60	74	79	84	83	81	83	86	86	81	32	34